

支援プログラム

事業所名	重症児デイ オハナ（児童発達支援）		作成日	令和8年 3月 30日
法人（事業所）理念	どんな障がいがあっても 生まれ育った地域で いきいきと暮らします			
支援方針	色々な経験・体験を通して子どもたちは成長していきます 成長につながる活動を楽しみながら行います ひとりひとりの目標を設定し、ひとりひとりを大切にしたい支援を行います			
営業時間	平日 9:30~18:30 / 祝日 9:00~18:00	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・家族からの申し送りやバイタルチェック、身体の状態を把握して、状況に応じて対応をしていきます。その日の体調に合わせて活動を行います。 ・医療的ケアが必要であれば（吸入・吸引・導尿・栄養注入・酸素等）、安全にケアを実施する。 ・発作が起きた場合は見守り、様子を観察しながら状況に応じて家族に連絡をします。		
	運動・感覚	・理学療法士等によるリハビリを行い、身体機能の維持・向上を図る（関節の拘縮や変形予防・姿勢保持・上下肢運動・バランスボール・ハンモック等）。 ・五感を刺激するような遊びや活動を通じて楽しみながら興味を広げ、感覚の発達を促せられるよう支援をします。		
	認知・行動	・季節に応じた音楽や製作、イベントを通じて季節を感じる学習をしたり、遊びを通じて子どもたちの興味関心を見つけていけるような支援をします。 ・視覚や聴覚、触覚などの感覚を使って意思疎通を図り、相手に伝える・伝わる喜びを経験できる環境作りをします。		
	言語 コミュニケーション	・発声、発語、表情、身振り、サイン等で自分の気持ちや意思を表現し、伝えられるように支援をします。 ・様々な活動を行う中で周りの雰囲気を感じながら、喜びや達成感を感じられるように支援をします。 ・個々の発達に合わせた言葉掛けや絵カードの使用、ジェスチャーなどで意思疎通ができるような支援をします。		
	人間関係 社会性	・お友達やスタッフとの関わりの中で楽しみや喜びを共有できるような支援をします。 ・お友達を意識して楽しく活動に参加し、自己主張や譲り合う経験ができるような環境作りをします。		
家族支援	・毎日SNS (Facebook・Instagram)を通して事業所での活動の様子を発信し、安心して通所できる環境作りをしています。 ・年に1回の面談にて保護者の不安事や要望を伺っています。	移行支援	・他事業所や相談支援事業所、併行通所施設などと連携や情報共有を行い、円滑な支援を行うことができるようにしています。	
地域支援・地域連携	・近隣へのお買い物や外出をすることで地域の方と繋がりを持つ機会を持つ。 ・発達センターとの情報共有や研修に参加をしています。	職員の質の向上	・毎日の様子や情報をアプリで共有している。 ・毎日のスタッフミーティングや定期的に事業所内研修を行っている。 ・外部研修への参加の際は事業所にて報告会を行っている。	
主な行事等	・月ごとの行事、お誕生日会、初詣、節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、いきもの語り卒業式(高校3年生)			